平成25年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	南極条約拠出金(義務的拠出金)		担当部局庁	国際協力局		作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成18年度		担当課室	地球環境課		課長 杉中 淳			
会計区分	一般会計		政策・施策名	基本目標Ⅶ 分担金・拠出金 具体的施策Ⅶ-3 国際機関を通じた地球規模の諸問題に係る国際貢献					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第3		関係する計画、通知等	南極条約事務局設置措置及び同本部協定並びに第26回南極条約協議国会議決定					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	事務局は、南極環境の保護および南極に於ける科学研究の自由と国際協力の確保のために、南極条約協議国の観測活動や南極条約体制下の交渉に関する情報総括、協議国会議の運営等により、南極条約体制を円滑ならしめることを目的として運営されている。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	南極条約事務局は、2001年の第24回協議国会議でアルゼンチンのブエノスアイレスに設置することを決定。2004年の第27回協議国会議で初代事務局長を選出、同年9月より業務開始。 職員9名で、主に協議国会議の開催(年一回)、ウェブサイトの運営、ディスカッションフォーラムの運営、各国活動報告のとりまとめ、公開を実施。南極条約関連活動に対する拠出金は外務省・文科省・環境省で3分の1ずつ負担し拠出している。								
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託・請負 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☒ その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	1	2	2	2			
		補正予算	-	-	-	-			
		繰越し等	-	-	-	-			
	計		1	2	2	2	2		
執行額		1	2	2					
執行率(%)		100%	100%	100%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)	
	他締約国の協力を得て我が国初の各国南極基地の巡察を行い、昭和基地運営に有効な知見を得た。協議国会議の開催を通じて南極環境保護の強化に貢献した。			成果実績	決議数	27	21	26	
				達成度	%				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	本拠出金により協議国会議を年一回開催している。事務局は南極基地運営に関する締約国からの情報の集約、南極に関する普及啓発、南極に関する科学機関や漁業機関のとりまとめを行っている。			活動実績 (当初見込み)	会議回数(回)	1	1	1	1
						()	()	()	()
単位当たりコスト	47,842ドル/国			算出根拠	拠出金÷協議国数				
平成25・26年度 予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由					
	南極条約拠出金	2	2						
	計	2	2						

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	我が国の昭和基地や観測船「しらせ」に対する国民の人気は高く、南極に於ける我が国の研究・観測活動は南極条約及び環境保護議定書の実施を国家として確保するために必要不可欠である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
事業の効率性	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		—	毎年行われる協議国会議(ATCM)において、我が国を含む先進国は事務局予算の効率的運用・コスト削減・費用対効果の確保に努めており、我が国の主張は事務局予算の決定に概ね反映されている。		
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○			
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—			
事業の有効性	費用・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	毎年行われる協議国会議(ATCM)において、我が国を含む先進国は事務局予算の効率的運用・コスト削減・費用対効果の確保に努めており、我が国の主張は事務局予算の決定に概ね反映されている。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—			
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○			
重複排除	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	毎年行われる協議国会議(ATCM)において、我が国を含む先進国は事務局予算の効率的運用・コスト削減・費用対効果の確保に努めており、我が国の主張は事務局予算の決定に概ね反映されている。		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—			
重複排除	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	特段の問題はないが、引き続き効果的な事業の実施を求めていく。					
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	日本の分担額・拠出額に応じて要求を見直す。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	72	平成23年	65	平成24年	89